

# 磯山

湖国健脚倶楽部

●米原市  
もし彦根城がここにあったなら：  
そんな思いを抱かせる湖畔の里山

## 湖

周道路を彦根から米原へ車を走らせる  
と、湖にせり出した岬の稜線が見えて  
きます。その名は磯山。標高159.5  
mの小さな山塊ですが、関ヶ原の合戦後、井伊直政  
が佐和山城を廃して新しく城を築く際、この磯山  
が候補地のひとつであったと言われています。昨年  
は「彦根城築城400年祭」で彦根市が賑わって  
いましたが、もしこの山に天守閣が築かれていたら、歴  
史はどのように変わっていたのでしょうか。

もともと磯山は、琵琶湖と内湖に囲まれた豊か  
な環境で、湖の恵みを受けながら古くからこの地  
で暮らしていたのでしよう。山から縄文時代の遺  
跡や古墳が見つかっています。また、室町時代にはそ  
の地形を利用した山城が築かれていました。今回  
は、山腹にある磯崎神社からその城跡をたどって  
みることにしました。

城跡は北と南のピークに2つ  
あり、北の山頂までは遊歩道  
が整備されています。ちょっと  
確認しづらい遺構ですが、三角  
点のある北の主曲輪跡からは  
北方に琵琶湖の展望が開け、  
これから冬にかけて空気が澄  
む季節は、白く雪化粧した湖  
北の山々を遠くに見ることが  
できるでしょう。冬の里山散策  
に最適です。

**DATA**

山行日 / 08年9月17日  
天候 / 晴れのち曇り  
歩行距離 / 約3km (往復)  
総時間 / 約2時間  
難易度 ★ (ビギナー向け)



磯山の山頂から琵琶湖、湖北方面を望む。手前の集落は米原市の磯。

### Route map



- アクセス  
磯山までは公共の交通機関がなく、徒歩の場合には最寄りのバス停からアプローチ。JR彦根駅から市立病院前行き(北系統)バスで「松原ニュータウン前」「松原中」まで約5分。バス停「松原中」から磯崎神社参道口まで徒歩約30分。彦根プリンスホテルを利用される方は、彦根駅、米原駅から無料シャトルバスが運行しています。マイカーの場合は、磯崎神社前に一部駐車可。
- 観光に関するお問い合わせ  
(社)米原観光協会  
☎0749-58-2227

※山行の際は、国土地理院発行の正確な地図(2万5千分1地形図など)をご使用ください。

### ひとくちメモ

●日本武尊を祀る磯崎神社  
日本武尊が東征の帰途、伊吹山の荒ぶる神の毒氣に当たり、居醒の清水で癒やしたという伝説は有名。その後、都へ帰る途中に崩御し、白鳥となつて飛び立ったと記紀にあります。磯崎神社の縁起では葬られたのがこの磯山と伝えられています。磯崎神社は日本武尊を祭神として建立されたもので、毎年5月3日の例祭「武者行列」では、日本武尊にあやかつて男児は鎧武者姿、女兒は稚児姿で巡行します。



山腹にある磯崎神社の境内。



山麓の磯崎神社参道口から。



高市黒人の万葉歌碑と烏帽子岩。

石段をのぼって磯崎神社へ  
たくさんの社に囲まれて…  
磯崎神社の鳥居から石段をのぼり詰めた  
境内には、社殿といくつもの小さな社が祀  
られています。その中にはこの地とゆかりの  
ある日本武尊の社も。境内の南にある小さ  
な鳥居から山中に遊歩道が続いています。

## ① Start! Goal

② 磯崎神社

万葉歌碑と烏帽子岩…  
気持ちの良い湖畔を歩く  
米原市の磯に入り、湖周道路を右に  
カーブすると、山麓に磯崎不動尊、さら  
に先には磯崎神社があります。湖畔  
には高市黒人の万葉歌碑、注連縄  
(しめなわ)をはった烏帽子岩も見えま  
す。道路を横切るときは十分に注意し  
ましょう。

整備された遊歩道



山頂にある三等三角点。



湖周道路に面した磯崎不動尊。

## ③

遊歩道をたどって山頂へ!  
磯山城跡から琵琶湖を望む  
遊歩道を尾根伝いに東へ進み、丸  
太階段の急斜面を登ると三角点の  
ある山頂です。小さな祠がぽつんと  
あるだけのピークですが、北に眺望  
がひらけ、湖畔の磯集落から琵琶湖  
の広がる風景が満喫できます。

▲磯山



尾根道をたどる

磯山城のあった山頂の主曲輪跡。

## ④

### 尾根道のアップダウン 南端のピークをめざして

遊歩道に戻ってさらに南へ進むと、ここから先は歩く人が少  
ないのか、道には草が生い茂り、一部は藪漕ぎも…。遊歩道  
が終わると、歩きやすい尾根道となり、テープの目印をたど  
ってアップダウンを繰り返します。



尾根道から見た湖畔のホテル。湖上に多景島が浮かぶ。

南端のピーク



曲輪を想起させる削平地。

## ⑤

### 草木が生い茂る城跡探訪 削平地の遺構のみ確認!?

やがて木立が広がる平坦な削平地に出ます。この  
あたりがもうひとつの城跡でしょうか。さらに南端の  
ピークを目指してみましたが、草木が密集して遺構  
も不明瞭。来た道をそのまま戻ります。



草木が茂った南端のピーク。